

平成 27 年度 文部科学省 委託事業
「高度人材養成のための社会人学び直し大学院プログラム」

**次世代成長産業分野での事業開発・事業改革のための
高度人材養成プログラム**

事業成果報告書

平成 28 年 3 月
公立大学法人首都大学東京
産業技術大学院大学

目次

1 事業の概要	7
1.1 事業の目的・概要	7
1.2 事業の意義・必要性	7
1.2.1 〈次世代成長分野としての第三次産業〉	7
1.2.2 〈第三次産業の生産性〉	8
1.2.3 〈アベノミクスの成果と、次の課題〉	8
1.2.4 〈生産性及び付加価値の改革〉	8
1.2.5 〈当事業で養成する高度人材〉	9
1.3 事業の体制	10
1.3.1 「社会人学び直し推進委員会」(協議の場)	10
1.3.2 プログラム開発委員会	11
1.3.3 外部評価委員会	13
1.3.4 产学の連携	14
1.3.5 事業の実証・評価・改善	16
1.4 事業の成果目標及び計画	17
1.4.1 活動目標(アウトプット)	17
1.4.2 成果目標(アウトカム)	19
1.4.3 事業計画(スケジュール)	20
1.4.4 普及計画	20
2 活動報告(平成 27 年度)	22
2.1 社会人学び直し推進委員会	22
2.1.1 第 3 回社会人学び直し推進委員会	22
2.1.2 第 4 回社会人学び直し推進委員会	24
2.1.3 第 5 回社会人学び直し推進委員会	25
2.2 プログラム開発委員会	29
2.2.1 第 3 回プログラム開発委員会	29
2.2.2 第 4 回プログラム開発委員会	31
2.2.3 第 5 回プログラム開発委員会	33
2.3 学内定例会議	36
2.3.1 学内定例会議#6	36
2.3.2 学内定例会議#7	36

2.3.3	学内定例会議#8.....	37
2.3.4	学内定例会議#9.....	37
2.3.5	学内定例会議#10.....	38
2.3.6	学内定例会議#11	38
2.3.7	学内定例会議#12.....	38
2.3.8	学内定例会議#13.....	39
2.3.9	学内定例会議#14.....	39
2.3.10	学内定例会議#15.....	40
2.3.11	学内定例会議#16.....	40
2.3.12	学内定例会議#17.....	41
2.4	プログラム開発委員会 WG(作業部会)	42
2.4.1	ワーキンググループ#22.....	42
2.4.2	ワーキンググループ#23.....	42
2.4.3	ワーキンググループ#24.....	42
2.4.4	ワーキンググループ#25.....	43
2.4.5	ワーキンググループ#26.....	43
2.4.6	ワーキンググループ#27.....	43
2.4.7	ワーキンググループ#28.....	44
2.4.8	ワーキンググループ#29.....	44
2.4.9	ワーキンググループ#30.....	44
2.4.10	ワーキンググループ#31.....	45
2.4.11	ワーキンググループ#32.....	45
2.4.12	ワーキンググループ#33.....	45
2.4.13	ワーキンググループ#34.....	46
2.4.14	ワーキンググループ#35.....	46
2.4.15	ワーキンググループ#36.....	46
2.4.16	ワーキンググループ#37.....	47
2.5	高度人材養成のための社会人教育ワークショップ	48
2.5.1	ワークショップ次第.....	48
2.5.2	講演①早稲田大学.....	50
2.5.3	講演②産業技術大学院大学	51
2.5.4	講演③産業技術大学院大学	52
2.5.5	講演④中央大学	53
2.5.6	当事業成果報告 産業技術大学院大学	54

2.6 PBL 教材開発	55
2.6.1 PBL 教材 アイデアソン課題解決	55
2.6.2 PBL 教材 アイデア出し	56
2.6.3 PBL 教材 観光事例	57
2.6.4 PBL 教材 観光事例集	58
2.7 事例研究型授業 教員研修	59
2.8 実証実験	61
2.9 PBL キャンプ	61
3 成果報告(平成 27 年度)	64
3.1 教育プログラム(カリキュラム及び教材開発)	64
3.1.1 修得すべき能力	64
3.1.2 教育内容(授業科目等)、教育方法	64
3.1.3 授業期間	71
3.1.4 履修資格	71
3.1.5 成績評価方法・基準	71
3.1.6 修了要件	72
3.1.7 担当教員	73
3.1.8 ファカルティ・ディベロップメント	75
3.2 事例研究型教育手法	76
3.3 事例教材開発	78
3.3.1 事業アーキテクチャ研究(ケース 1)	78
3.3.2 事業アーキテクチャ研究(ケース 2)	79
3.3.3 事業アーキテクチャ研究(ケース 3)	80
3.3.4 事業アーキテクチャ設計(ケース 1)	81
3.3.5 事業アーキテクチャ設計(ケース 2)	82
3.3.6 事業アーキテクチャ設計(ケース 3)	83
3.4 当教育プログラム試行運用状況	84
3.4.1 ガイダンス	84
3.4.2 リーダーシップ特別講義	85
3.4.3 IT ソリューション特論	86
3.4.4 事業アーキテクチャ特論	87
3.4.5 経営戦略特論	88
3.4.6 スタートアップ戦略特論	89

3.4.7 マーケティング特論	90
3.4.8 プログラム試行運用結果.....	91
3.5 社会人及び女性の学び直しのための新しい環境	92
3.5.1 〈時間的及び場所的制約)	92
3.5.2 〈経済的負担)	94
3.5.3 〈学習成果の評価)	94
3.5.4 〈女性等)	95
3.5.5 〈ほか)	95
3.6 社会人のキャリアアップの仕組み	96
3.6.1 学習成果の記録・評価の取り組み	97
3.7 社会人学び直し啓発の仕組み.....	100
3.7.1 起業塾.....	100
3.7.2 Web 記事	126
3.8 事業成果の普及	127
3.8.1 当事業の情報公開 Web サイト.....	127
3.8.2 産業技術大学院大学 Web サイト.....	128
3.8.3 大学院説明会	128
3.8.4 ワークショップ	128
3.8.5 学修コミュニティイベント(起業塾)	129
3.8.6 Web 記事	129
3.9 事業の評価	129
3.9.1 外部評価委員会	129
3.9.2 外部評価結果.....	130
4 次年度以降の計画	137
4.1 平成 28 年度計画.....	137
4.2 繼続性	138
5 付録	139
5.1 成果報告 発表資料.....	139
5.2 事例研究型授業ケース教材 資料抜粹	146
5.3 平成 28 年度シラバス	162
5.4 当プログラムリーフレット.....	188
5.5 学生ガイダンス資料	190